

## 情報公開内容

**課題名** : transcatheter arterial chemoembolization with an interventional-CT systems for recurrent hepatocellular carcinoma after living donor liver transplantation (肝移植後に再発した肝細胞癌に対するインターベンショナル CT システムを用いた肝動脈化学塞栓療法についての検討)

### 本研究の目的

肝細胞癌に対する肝動脈化学塞栓療法は、治療効果の高い低侵襲治療法として広く行われています。しかし、肝移植後再発肝細胞癌における治療効果については、まだまだ検討されていません。本研究の目的は、肝移植後再発肝癌に対する肝動脈塞栓化学療法の効果などについて検討することです。

### 本研究の対象

2007年3月から2012年12月の間、本院において肝移植後の肝細胞癌再発に対し、肝動脈化学塞栓療法を中心とした経カテーテル治療が行われた患者さん約10名。

### 本研究の意義

本研究により肝移植後再発肝癌に対する肝動脈塞栓化学療法の治療効果などが明らかになれば、今後の肝細胞癌に対する治療戦略を構築していくうえで大きなインパクトがあると考えています。

### 研究の方法

本研究ではすでに行われている画像所見や検査データなどを解析し、肝移植後再発肝癌に対する肝動脈塞栓化学療法の有用性を検討します。カルテを調べて調査することが主な調査方法です。調査項目は、患者の性別、年齢、採血結果、画像所見、臨床情報（合併症、予後など）です。

### 個人情報保護の方法

- (1) 対象患者さんのカルテ、画像に記載された個人情報はすべて匿名化した上で研究に使用します。
- (2) 学会誌や学会での発表等、調査結果を公表する際、個人情報は一切公表しません。
- (3) この研究で収集したすべての情報は、この研究の目的以外では使用いたしません。
- (4) データは外部と独立したコンピューターで管理し、パスワードによるログイン機能の付加、コンピューターをセキュリティーの厳重な部屋に保管します。
- (5) 収集した患者さんのデータは、研究公表後データはすべてコンピューター上から削除、書類はシュレッダー等で処理した上で廃棄します。

研究に資料を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出いただいても今後の診療などに不利益が生ずることはありません。

問い合わせ、苦情等の窓口の連絡先

担当者所属：広島大学病院 放射線診断科

職名：准教授

氏名：研究担当者 山上卓士

連絡先電話番号：082-257-5257